

VI. 平成28年度 ベルキンダー 事業計画

中期事業計画

10ヵ年基本方針

保護者と地域の人びとから信頼され、愛され続けるこども園をめざす。

中期ビジョン

幼保一元化のメリットを活かしベルキンダー独自の『質の高い幼児教育と保育活動』を確立する。

中期戦略

約三年後には堺市堺区の待機児解消が進み、園児獲得に苦慮する時代がやってくる。また近隣の公立保育所も近い将来、民間への移管が想定される。それまでに、地域との密接な繋がりが持てるよう子育て支援の輪を広げるとともに、一人ひとりの子どもと保護者に寄り添い続け、安心して安全な教育・保育を行う事で園児獲得への道をつける。

平成28年度 事業計画

1. 平成28年度基本戦略

～幼保連携型認定こども園としてのさらなる発展を～

職員の『つながり力』が個を支える事で組織の強化をめざし、人間力溢れる魅力ある教育・保育を創造する。

2. 重点活動事項

(1) 質の高い教育・保育と幼保小連携教育の提供

- ア) 小学校学習指導要領と連動させた教育・保育課程の充実をはかり小学校教員との交流を深めながら、こども園からスムーズな就学接続を行う。
- イ) キャリアパスに基づく研修を推進し、質の向上に努める。

(2) 子育て支援施策の更なる拡充に向けて

- ア) 在園児保護者への育児支援・育児講座の充実をはかる。
- イ) 堺市子育て支援者会議で得た情報を活かし、地域の民生委員・主任児童委員の主催する子育てサロンの運営・支援に参画する。

(3) 経営の安定化

- ア) 堺市の待機児が減少傾向にある為、利用定員 167 名の範囲内で園児を受け入れる。
- イ) 休日保育・一時保育では、これまで優先されてきた量的拡充だけでなく質の担保と向上にも力点を置き、利用者の新規獲得へと繋げる。

(4) 職員の人材育成と確保

- ア) 施設内の人材構造の見直し・配置の工夫をはかり各クラス責任者・リーダー・主任がそれぞれ自律した役割が担える職場づくりをめざす。また縦・横の繋がりを強化しチーム力の発揮へと繋げる。
- イ) 大阪健康福祉短大の堺東への一部移転に伴い講師との交流をはかり実習・ボランティアを積極的に受け入れ、学校との太いパイプをつくり、今後の継続的な人材確保に努める。